

# さくら防災学習新聞



発行日：2017年11月28日 発行：NPO法人さくらネット

## スペシャル コラム

防災学習アドバイザー・コラボレーター

神戸学院大学現代社会学部 非常勤講師 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 特任教授 諏訪 清二先生

### 新学習指導要領は案外柔軟で面白い（ところもある） <前編>

教科「防災」の設置を要望する声もある中で、文部科学省は新設を見送ったが、新学習指導要領の中に防災に関わる記述を増やしたという。さっそく小学校版を読んでみた。防災関連項目の記述を確認して、どの項目が防災の学習に適しているのかを考えてみようと思ったのだ。なるほど、社会の3年から6年、理科の5年と6年の内容は、災害を引き起こすハザードや社会の防災力にかかわる項目をきちんと押さえている。「安全」にまで視野を広げると、体育の5年と6年や特別の教科道徳などにも記述がある。特別活動の学級活動や学校行事にも事件や事故、災害を念頭において安全を扱っている。

教科書会社は学習指導要領に従って教科書を作成している（でないと教科書検定を通らない）。昨今の教科書は、写真、図、表などがふんだんに用いられ、こどもたちの関心を引く工夫が随所にみられる。教科書を使って教えていけば、こどもたちの防災に関する知識も増えていくはずだ。社会と理科での防災の学習は一応大丈夫だと思った（ただ、知識を教えるだけでは実践的な防災の力は身につけにくい。教科書に記載されているとはいえ教える側の工夫が必要だ）。

一方で、防災は理科や社会だけで独立して教えるべきものではないと私は考えている。もっと総合的なはずだ。そのうえ、私は、教科書の内容を教えるだけではおもしろくない、という考えを持っている。教師を目指していた学生時代、「教科書を教える」のではなく「教科書で教える」という言葉をよく聞かされた。これとて、教科書が存在することが前提で、どこか、教師の自主的で主体的な創造性を削いでいるような気がしないでもない（いや、する）。

<後編> は「さくら防災学習新聞 12月号」に掲載（予定）いたします。

## 【津波防災の日】ご存知ですか？

災害が多い日本。平成23年6月、津波対策に関する理解と感心を高めるため、11月5日が「津波防災の日」に定められました。さらに平成27年12月には、第70回国連総本会議で「世界津波の日」と定める決議が全会一致で採択されました。最近では11月5日前後に、訓練やフォーラムなど、津波に関するイベントが開催されるようになっています。

「津波防災の日」以外にも、日本では災害・防災に関する日が設定されています。

9月1日は「防災の日」、1月17日は「防災とボランティアの日」です。

これらは全て、過去に災害が発生した日に関係しています。

11月5日は、1854年：安政南海地震の発生日。

9月1日は、1923年：関東大震災の発生日。

そして1月17日は、1995年：阪神・淡路大震災の発生日です。

体験・経験・教訓を残し、防災・減災に向けた取り組みが広がっています。



## 防災学習のご報告（11月）

11月25日：ぼうさいチャレンジひろば

（甲佐町立白旗小学校・親子防災プログラム）

11月26日：防災教育講演会

（益城中央小学校・親子お笑いプログラム、炊き出し）

※ボラサポ九州さま、ベネッセこども基金さまの助成を受けて実施しました



## お知らせ

### ぼうさい甲子園 受賞校発表について

平成29年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」の受賞校発表は12月6日14時を予定しています。発表までしばらくお待ちください。

また、受賞校の表彰式・発表会は平成30年1月7日(日)に兵庫県公館で開催されます。お楽しみに！

### 連絡先

〒663-8201  
西宮市田代町16-8  
パルティーレN棟 西号室  
0798-64-5829  
<http://npo-sakura.net/>

